

社会課題の解決を経営目標として、“持続可能な社会の発展”に貢献を目指す**富士フィルムホールディングス中期 CSR 計画(2014-2016)****「サステナブル バリュー プラン (Sustainable Value Plan) 2016」を策定**

平成 26 年 5 月 21 日

富士フィルムホールディングス株式会社(社長:中嶋 成博)は、2014 年度から 2016 年度の中期 CSR 計画「サステナブル バリュー プラン(Sustainable Value Plan)2016(以下、SVP2016)」を策定、活動を開始しました。富士フィルムグループは、創立 80 周年を機に、当社が社会に価値ある革新的な「技術」「製品」「サービス」を生み出し続け、お客さまの明日のビジネスや生活の可能性を拓けるチカラになるという新コーポレートスローガン「Value from Innovation」(*1)を制定しました。これに加え、新たにグループの経営の根幹となる目標として SVP2016 を策定しました。富士フィルムグループは、社会課題の解決を事業成長の機会と捉え、社会課題解決のための「新たな価値」創出に積極的に取り組むことによって“持続可能な社会の発展”に貢献する企業を目指します。

今回策定した SVP2016 では、当社の強みを活かし、社会課題の解決に貢献できる領域として、社会的影響の大きさから「環境」「健康」「生活」「働き方」を重点 4 分野と定め、11 の社会課題解決に取り組めます。特に「環境」については、富士フィルムグループの『製品』『サービス』『技術』を普及させることで世の中の CO2 排出量抑制に貢献する目標値として「2020 年度までに 2005 年度比 2000 万トンの CO2 削減」を設定しました。

また、これまで当社が CSR 活動として注力してきた事業プロセスにおける環境課題への取り組みやコンプライアンス等の CSR 基盤についても、バリューチェーン全体にわたりワールドワイドで強化していきます。

富士フィルムグループは、この経営目標に取り組むことによって、新たな価値を提供し続けることにチャレンジし、社会の持続可能な発展と企業価値向上に努めていきます。

SVP2016 重点項目(概要)と目標**1. 革新的な『製品』『サービス』『技術』を通じて、重点 4 分野:①環境、②健康、③生活、④働き方に関する 11 項目の社会課題の解決に貢献****【環境】**

・CO2 削減による地球温暖化防止への貢献

富士フィルムグループの製品やサービスを使用いただくことで世の中の CO2 排出量を 2020 年度までに 2005 年度比 2000 万トン削減する

・高機能素材の開発などを通じた水汚染の軽減・抑制

・自社技術の活用による環境負荷の少ないエネルギー創出への寄与

【健康】

・新興国の医療環境改善など医療サービスへのアクセス向上

・診断・検査精度の向上に寄与するシステムの開発と普及による疾病の早期発見への貢献

・癌、アルツハイマーなどのアンメット・メディカルニーズに応える医薬品開発の加速

・化粧品とサプリメントの提供による人々の健康と美への貢献

【生活】

・情報の長期保存、防犯・情報セキュリティ向上など、安全・安心な社会づくりへの貢献

・写真文化の継承や地域コミュニケーションの活性化など、人々のつながりや心の豊かさへの貢献

【働き方】

・情報の壁(言語やデジタル・アナログの壁など)を越えるコミュニケーションの促進

・時間や場所に左右されない新たな働き方の実現 -ダイバーシティ促進への貢献-

2. 生産活動等の事業活動すべてのプロセスにおける環境課題への積極的な取組みをさらに推進

1) 地球温暖化対策

自社製品・サービスのライフサイクル全体(調達・製造・輸送・使用・廃棄等)の CO2 排出量を 2020 年度までに 2005 年度比 30%削減

2) 資源循環の促進

- ・2016 年度 廃棄物発生量を 2012 年度比 8%削減
- ・2020 年度までに資源投入原単位を 2012 年度比 10%削減
(2016 年度までに主要製品の原単位指標のガイドラインを策定)
- ・売り上げ当りの水使用量(水原単位)の 2012 年度レベル維持

3) 製品・化学物質の安全確保

3. 企業活動を支える CSR 基盤をバリューチェーン全体にわたり強化を継続

- 1) グループ内のコンプライアンス意識の向上とグローバルレベルのリスクマネジメントの徹底
- 2) 多様な人材の活用と育成
- 3) CSR 視点(人権・倫理など)のバリューチェーン・マネジメント強化

【新 CSR の考え方】



【従来の CSR の考え方から変更したポイント】

従来から行っていた、法令順守や社会要請に応じて企業市民として責任を果たす CSR 活動に、下記 2 点を加え、積極的に社会課題の解決への貢献を図っていきます。

1. グローバル及び地域の様々な環境・社会課題を認識し、事業活動を通して、その解決に向け、価値を提供していきます。
2. 私たちの事業プロセスが環境・社会に与える影響を常に評価し、その継続的な改善を進めるとともに社会にポジティブな影響を広げていきます。

富士フィルムグループは、今後も全事業を通じて、新たな価値を創出していくことで、一歩先行した取り組みを行い、21 世紀の地球にとって最重要課題である“持続可能な社会の発展”に積極的に貢献していきます。

(*1) 新コーポレートスローガン <http://www.fujifilmholdings.com/ja/about/slogan/index.html>参照

(*2) SVP2016 の詳細 <http://www.fujifilmholdings.com/ja/sustainability/index.html>参照

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

報道関係： 経営企画部コーポレートコミュニケーション室 TEL:03-6271-2000
お客様： 総務部 CSR グループ TEL:03-6271-2065

ホームページ： <http://www.fujifilmholdings.com/>